

○開会

○校長あいさつ

○会長あいさつ

○協議

I 平成30年度「学校教育自己診断」分析結果について

II 平成30年度「学校経営計画及び学校評価」について

III 平成31年度「学校経営計画(案)」について

IV 3年生(4期生)進路状況について

V 部活動について

○本日のまとめと終わりの挨拶

○諸連絡

◇協議

I 平成30年度「学校教育自己診断」分析結果について

(事務局)

・今年度のアンケートの回収率は、生徒 92.6%、保護者 71.3%、教員 93.5%。肯定率が高く出ているのは、生徒・保護者・教員の3者ともに進路に関する内容である。昨年度より全体的に生徒の肯定率が上がっており、教員のアンケート結果に近い。

保護者関係の分野では学校行事への参加やPTA行事の参加について課題があがっている。教員関係の分野については若手教員の育成について課題があがった。

#### 質問・意見

(会長)

・昨年度に比べ上昇している項目が多い。経験の少ない教員への研修はどのように実施しているのか。

(教頭)

・初任者については、1年間にわたって研修が定められている。10年目研修については、10年目になる以前から受講できることとなっており、その中で若手教員育成のための研修がある。

校内での研修の充実を図る必要がある。

(会長)

・定められた法定研修では一般の支援学校の教員と同じ内容の研修を受講する。高等支援学校の専門性を高めるという意味では、一般支援学校とどのように違っているのか学習会的なものが必要。

個々の教員が自分はどういった専門性を求められているのかを考えてほしい。校内、校外での研修でもらった資料を年間でためておき、1年後に自分に必要な資料だけをピック

アップして、自分のものにするという方法がある。教員同士でお互いのポートフォリオの確認をしあう機会があってもよい。

(教頭)

・校内では初任者に対しリーディング・コーディネーターからの指導、教科指導官からの指導を行なっている。クラス運営や生徒指導の部分はボリュームアップが必要。

(事務局)

クラス運営や生活指導において悩みを持つ教員が多くいる。日々の中でわからないことがあれば丁寧に伝えていく必要がある。

(会長)

具体的なものを校長が提案し、実践していく必要がある。

## II 平成 30 年度「学校経営計画及び学校評価」について

(校長)

・今年度の評価について、企業実習の数が△の評価になっているが昨年並みに近づいている。今年度は生徒との面談を充実させている。昼休みには生徒へのカウンセリングの機会を設定。進路の分野についても週 1 回昼休みに進路指導室を解放し、相談しやすい環境づくりをした。

クラブ加入率の増加。

地域との関係は不可欠であり丁寧に取り組む必要がある。

### 質問・意見

(委員)

スクールカウンセリングの回数は？

(事務局)

月 1 回 1 日 5 時間 (年間 50 時間) もっと利用時間を増やせるように要望している。

(年間 100 時間)

(会長)

実施の様子は？

(事務局)

生徒、保護者、教員へ希望を聞き、実施している。保護者からの希望が多い。教員からは生徒対応についてのカウンセリング希望がある。

(会長)

若手教員がカウンセリングマインドを学ぶために同席することがあってもよいのでは

ないか。

(会長)

広報活動として中学校へはどのぐらい訪問しているか。

(事務局)

個別ではないが、地域の中学校の会議などに参加させてもらい広報している。

(会長)

卒業生へのサポートについても具体案をいれるべき。たとえ、離職者があっても次の就職のための支援が大切。

PTA など保護者の活動は？

(委員)

小学校、中学校で PTA の経験をしていると PTA に対してよいイメージを持っていない。小学校、中学校の PTA をイメージされていると参加しにくいと思ってしまう。このイメージを払拭したい。

### Ⅲ 平成 31 年度「学校経営計画(案)」について

(校長)

- ・高等支援学校という専門性の向上がポイント。若手教員育成のための体制づくりが必要
- ・バディ制度やファミリー制度といった、初任とベテラン教員とのペアリングなど、チームで資質向上をめざす。
- ・伝達講習の実施
- ・支援学校免許取得率の向上
- ・外国語派遣講師予算の有効的な活用
- ・スクールソーシャルワーカーの活用の充実

#### 質問・意見

(会長)

英語の授業の回数はどれくらいなのか。

(事務局)

週 1 回ではあるが、国際交流事業でたくさんの国の方々が来校している。

(会長)

生徒たちの様子は？

(事務局)

コミュニケーションを重視している。外国語以外でも、オリンピックや万博の話題も提供している。外国の方々と関わることに距離感がなくなってきている。

(会長)

防災訓練については？

(事務局)

火災、地震、津波の訓練を摂津支援と合同で行っている。生徒の委員会活動の中で防災について取り入れていきたい。

(会長)

摂津地域と連携が必要。夜の時間に避難を体験する取り組みをしている学校もある。

(校長)

地域を対象に学校見学会を実施し、避難の際のイメージを持ってもらうことも考えている。

(会長)

支援学校免許保有率を向上するとあるが、個人の問題もある。現在の状況は？

(教頭)

約 30%

(校長)

免許を取得するまでに 3 年ほど時間を要するので、単位の取得率も見ていく必要がある。

(会長)

働き方改革については？

(校長)

月 30 時間以上の残業があれば、声をかけるようにしている。単に時間を減らすだけでなく業務改善や仕事の分配方法も考えていかないといけない。

#### IV 3 年生 (4 期生) 進路状況について

(事務局)

【資料にて今年度の 3 年生の進路状況について説明】

## V 部活動について

(事務局)

開校から徐々に入部数が増えており、クラブ数も増えている。前向きな転部は認めるようにした。そうしたことで部活動の継続率が上昇した。部活動をすることによって異なった角度から生徒の様子を見ることができ、よい取組みとなっている。

○本日のまとめと終わりの挨拶

○諸連絡